

東日本小学生大会 競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は2024年度公益法人日本陸上競技連盟競技規則及び本大会注意事項に基づき実施する。

2. 練習場および練習について

- ・競技開始前は本競技場を使用してもよい。当日は午前7:00～午前8:00までとする。
なお、前日(3日)は、午後1:00～午後5:00までとする。
時刻になったら後片付けをし、速やかに本競技場から退場する。
- ・その他の練習は室内練習場または屋外走路を利用して行う。(すべて反時計回りで練習すること)

3. 競技者の招集について

- ・招集開始時刻および招集完了時刻はその競技開始時刻を基準とする。(競技開始時刻が変更されることもあるので注意すること)
- ・招集場所 第4コーナー入口付近
- ・招集完了時刻になったら招集所で点呼を受ける。(本人)
- ・競技者係審判員の誘導(現地へ整列して引率を原則)
- ・招集完了時刻に遅れた者は棄権したとみなし処理する。
- ・招集時刻内に同時または、前後して他競技にも出場する者は当該競技役員にその旨を申し出る。

4. アスリートビブスについて

- ・定められたアスリートビブスを背と胸にしっかりつけること。ただし、跳躍競技の競技者は、背又は胸につけるだけでもよい。
- ・トラック競技では写真判定をするので、腰ナンバーカードをランニングパンツの右側後方にしっかりつけること。ただし、リレーは第4走者だけがつける。
- ・腰ナンバーカードは競技者係から受け取り、フィニッシュしたら競技者係補助員に返納する。
(長距離競技については、黄色の胸ナンバーカードも競技者係から受け取り、胸につけること)

5. レーン順・競技順について

- ・予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載どおりとする。
- ・フィールド種目の試技数は、小学生は3本プラストッポエイト1本(走高跳以外)、小学生以外は3本プラストッポエイト3本とする。
- ・トラック競技で欠場者のレーンはそのままあける。

6. 競技について

- ・トラックレース予選の棄権者により、出場者が8名以内(小中学生9名以内)の場合は、予選をやめ、決勝の時刻に行う。
- ・リレー競技のオーダーの申告は、招集完了時刻の1時間前までラウンドごとに行う。
- ・不正スタートは、小学生においては、同じ競技者が2回不正スタートしたときにその競技者を失格とする。
- ・競技規則TR16.5の取り扱いについて
小学生は「不適切行為」は適用せず注意を与えるものとする。
- ・小学生のスタートは、3年生以上は英語合図、2年生以下(未就学含む)は日本語合図とする。
- ・小学4年生以上短距離のスタート方法は、クラウチングスタートとする。(3年生は推奨する)
- ・タイムレース決勝については、申込記録により上位・下位に分け、組み分けを行う。
- ・事故防止のため短距離競走ではフィニッシュ後も自分のレーンに沿って走り通すように、また、リレー競争の場合、バトンを受け渡した後も自分のレーンに留まり、競技終了後退場する。なお、レーン内に貼るマーカー(最大50mm×400mm)は自チームで用意し、終わったら必ずはがす。
- ・走高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。(天候等の事由で変更することもある)

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9
小5年男子	95	100	105	110	115	120	125	130		
小6年男子	100	105	110	115	120	125	130	135		
小5年女子	90	95	100	105	110	115	120	125		
小6年女子	95	100	105	110	115	120	125	130		

※はさみ跳びとする。

※8以降3cm

- ・小学生ジャベリックボール投の助走は15m以内とする。
- ・競技者に対する助力については競技規則TR6に基づく。競技者はビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくは類似した機器を競技区域内で所持または使用できない。録画再生機器や

録画映像は、録画映像を提供する者のすぐ近くの位置であれば競技区域内に持ち込むことが認められる。画像をより詳しく見るために、競技者は画像を撮影した人とコミュニケーションを取りながら録画再生機を手にしてもよい。

- ・2種目を兼ねる選手についてはトラック競技を優先とする。しかし、出発係やフィールド審判員に告げ、他の種目の進行を考えながら、ぎりぎりまで試技を行うことが賢明である。

7. 競技場の入退場について

- ・競技場は、その競技をする選手と競技役員だけが入場することができる。それ以外の者は競技場に立ち入ることはできない。
- ・選手は本部前（表彰台付近）を通過することはできない。ただし、表彰の時はその限りではない。
- ・競技を終了した選手は次のように退場する。
 - ※トラック競技 フィニッシュ側ゲートより外に出て、スタート地点に戻り、衣服等を持ち帰る。決勝の場合は、入賞者は表彰控場所へ移動する。
 - ※フィールド競技 審判員の指示に従い、安全に外側フィールドを通り自席へ戻る。入賞者は、審判員の誘導で表彰控場所へ移動する。
- ※2種目兼ねて出場している選手は、審判員に告げて他の競技に素早く対応する。
- ※リレー競技に出場した選手は最寄りの出口から退場する。

8. 競技用具について

- ・スターティングブロックの使用は、原則として本競技場備え付けのものを使用する。また、小学生の場合、決勝のみ使用することができる。
- ・投てき種目の器具は競技場備え付けのものを使用する。

9. スパイクシューズについて

- ・スパイクシューズの使用は自由とする。小学生のスパイクシューズはできるだけ短いピンが望ましい。
- ・全天候型スパイク及びピンを使用する。ピンの長さは9mm以下。走高跳は12mm以下。

10. 表彰について

- ・トラック競技並びにフィールド競技で8位までに入賞した選手は表彰控場所で待機し表彰を受ける。
(1位～3位までメダル)
- ・表彰を受けるもので他の競技に出場する場合、審判員または表彰係に告げて対応すること。また、表彰は代理でもかまわない。

11. 応急処置について

- ・医務室は本部内に設けてあり、応急処置までの用意がある。

12. その他について

- ・テント張りについては、当日は張ってよいが、バック側平坦部及びコーナーの芝生席のみとする。また、使用した後は現状復帰とする。
- ・駐車場が限られているため、できる限り電車やバスを利用することを願います。違法駐車や迷惑駐車は絶対にしてないこと。
- ・自販機等により購入のペットボトル・びん・缶類はすべて持ち帰ること。
- ・落とし物については、競技会終了までは大会本部が預かり、それ以降は競技場事務所が預かる。

ゴミ処理、トイレ使用のマナーをお守りください。

ゴミ処理は、全て有料です。ご協力を。

道南陸上競技協会のホームページ
<http://www8.plala.or.jp/dounanRIKU/topindex.htm>